

市長の活動報告（令和7年5月）

5月3日（土曜日） 大阪・関西万博でのトップセールスを実施

大阪・関西万博の関西パビリオン内にある徳島県ブースにおいて、「国史跡若杉山辰砂採掘遺跡」で出土した「辰砂」を含む鉱石が展示されていることから、視察を行うとともに自ら宣伝を行いました。

当日は、徳島県主催による阿波おどりイベントが開催されていたこともあり、多くの人で賑わっており、阿南市の魅力を存分にお伝えする絶好の機会となりました。

引き続き、阿南が誇る豊かな歴史・文化の積極的なトップセールスを行ってまいります。



5月10日（土曜日） 第16回瀬戸内海首長サミット

愛媛県今治市で開催された、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会令和7年度総会及び第16回瀬戸内海首長サミットに参加し、本市の「橘港」を核とした取組及び今後の展望について意見発表をしました。

「橘港」は、本市の発展に大きく貢献していただいていることから、今後においては、「カーボンニュートラルポート（CNP）」の形成に向けて、関係機関と連携を強化し、新たな発展に取り組んでまいりたいと考えています。



5月14日（水曜日） 総務省官僚との意見交換

総務省所管の定住自立圏や防災、公共インフラなどについて活用できるメニュー等の意見交換を行うため、総務省を訪れました。

自治財政局等の官僚の皆様と積極的な意見交換の場を持つことができ、本市が抱える諸課題や今後より一層取り組んでいただきたいことなどをお伝えすることができました。

特に、広域で連携・協力を行う「定住自立圏構想」は、国における支援が圏域の発展には必要不可欠であることを強く訴えてまいりました。

今後も本市の更なる発展に向けて、関係機関との積極的な意見交換に取り組んでまいります。



5月15日（木曜日） 令和7年度四国治水期成同盟連合会・四国河川協議会合同総会

松山市で開催された、第58回四国治水期成同盟連合会総会、第24回四国河川協議会通常総会及び令和7年度四国治水期成同盟連合会・四国河川協議会合同総会に出席し、各市町村において、住民の安全と安心を守るための治水に関する取組についての意見交換等を行いました。

四国治水期成同盟連合会及び四国河川協議会では、流域治水の更なる推進や積極的な河川改修に取り組んでもらうために、国に対して要望活動を展開しております。

これからも、「災害に強く安全・安心な阿南」の創生をめざして積極果敢に取り組んでまいります。

5月19日（月曜日） 令和7年度四国国道協会総会

高松市で開催された、令和7年度四国国道協会総会に出席し、この度の役員改選により、会長の重責を担うこととなりました。

四国国道協会は、平成3年に設立以来、四国の一般国道の整備促進に加え、四国8の字ネットワークの早期整備に向けた取組も展開しており、令和7年5月現在、四国の自治体89市町村が加入している団体です。

「阿南 IC～小松島南 IC」が開通見通しとなっている今年度において、会長に選任されたことに身が引き締まる思いであり、一刻も早いミッシングリンクの解消と高規格道路の全線開通をめざしてまい進してまいります。

5月30日（水曜日） 徳島県南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会令和7年度総会

徳島県南に位置する小松島市、阿南市、勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町の2市6町で構成する「徳島県南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会」の令和7年度総会を開催しました。

本期成同盟会は四国8の字ネットワークを形成する四国自動車道並びに阿南安芸自動車道の整備促進を図り、徳島県南部の産業、経済、文化の発展を期することを目的に活動しており、昨年度においては結成以来初となる単独中央要望を実施するなど精力的な活動を行っております。

今年度においても県南が一致団結し、積極的な要望活動を行ってまいります。

